

宝印刷 株式会社

中込 克二様(人事部次長)

■ 企業プロフィール

本社所在地	東京都豊島区高田 3-28-8
代表取締役	堆 誠一郎
設立	1960年(創業 1952年)
社員数	676名 (2014年5月31日 現在)
事業内容	<input checked="" type="checkbox"/> ディスクロージャー並びに IR 関連物のコンサルティング、制作、印刷 <input checked="" type="checkbox"/> ディスクロージャーに関連するソフトウェアの開発と販売 <input checked="" type="checkbox"/> ディスクロージャーに関するセミナーの開催、書籍の出版

■ インタビュアー

東京富士大学 黒田 秀雄ゼミナール(経営学科)
袁 野(3年)、須藤 洋介(2年)、下川 英久(2年)

■ 訪問日・2014年10月23日(木)



～「宝印刷」という社名から印刷会社だと思っただけでしたが…実態は全く違うのですか？

投資家保護のために、企業が自社の情報を開示することを総称して「ディスクロージャー制度」と呼びます。株式上場をしている企業は、投資家や株主に対してきちんと情報公開をする義務があり、金融商品取引法や会社法などのルールに基づき、有価証券報告書をはじめ、作成しなければならない書類もたくさんあります。

当社の事業ですが、お客様である上場企業に作成が義務付けられている開示書類の内容に関し、法的観点からチェック・アドバイスをさせていただいた上で、印刷物やデータ等に仕上げるといった流れが、60年以上続く当社の基本となるビジネスモデルです。最近では当社が取り扱う代表的なツールである有価証券報告書等の開示書類の電子開示が進み、求められるサービスも多様化されてきています。当社は「e-Disclosure Solutions」を企業コンセプトに掲げ、提供するサービスのデジタル化を推進する等、時代に則したサービスを心がけています。

～貴社の企業理念についてご教示ください。

社訓として以下を設定しています。「私たちは、ディスクロージャーのパイオニアとして、お客様に感動していただける最善のサービスを提供し、社業の発展に努め、情報化社会に貢献します」

また、行動規範として次の10項目を設定しています。内容は「1. 法令の遵守」「2. 顧客の信頼獲得」「3. 取引先との信頼関係」「4. 株主・債権者の理解と支持」「5. 社員の連帯と自己発現への環境づくり」「6. 社会とのコミュニケーション」「7. 個人情報等の厳正な管理」「8. 政治・行政との関係」「9. 反社会的勢力および団体への対処」「10. 地域社会との共生」です。

これらは人として基本なこと、企業として当たり前のことを謳っているだけで、特別な内容というわけではありません。ただし、これらの理念を文章化にすることによって、社員の意識を高める効果につながります。当社は、お客様の機密情報をお預かりしていますので、人としての善・悪を行動方針として明示し、根付かせています。これは、上場企業として当然のことだと思います。

こうした理念の成文化そのものは最近のことではありますが、情報管理の徹底という精神に関しては、創業時から変わりません。

～こうした理念を浸透させるために、どんなことをなさっていますか？

業務の性質上、情報セキュリティ管理については、全社員が強く意識を持ち仕事に取り組んでいます。その意識を持ち続けるため、定期的に外部の講師を招き、情報管理に関する研修を実施したりして、意識の啓蒙を図っています。

また、大阪をはじめとした地方拠点の社員も含む全社員が、毎年7月一堂に集い、当社社員としての意識の共有を図っています。機密情報を扱う企業である以上、常に神経を巡

り張らせて情報漏洩・不正が絶対にないように努めるのが、当社の責務であると考えています。システムのセキュリティ対策を講じることはもちろん、社員全員から機密保持のための誓約書を提出してもらおう等、様々な点から情報管理にアプローチすることで、当社の社員として持つべき意識を維持させています。

～貴社の経営におけるモットーとは、どのようなことでしょうか？

モットーは、「インサイダー情報の徹底管理」、「社員一同の連帯感の必要性」です。

加えて、当社はずっと「CSR 経営」にも努めてきています。株主や投資家、取引先に向けての「経済的側面」、地球環境・地域環境を考慮した「環境的側面」、そして地域住民、社員、行政を対象とした「社会的側面」の3つをボトムラインとした「宝印刷 CSR 宣言」を公開し、当社の企業姿勢を理解してもらおうと努力しています。

～グローバル化に力を入れておられるようですね？

近年、日本企業に投資する外国人が増えてきています。また、IFRS（国際財務報告基準）の適用など、英文ディスクロージャーを巡る環境にも変化があらわれています。

当社のディスクロージャー翻訳サービスでは、英・中・韓のネイティブスタッフによる翻訳はもちろんのこと、5工程による厳密なチェックを行なうなどして、高い品質を保証しています。

海外進出を目指す企業のサポートにも力を入れています。また、韓国・台湾・香港・シンガポール等の証券取引所に上場しようとする企業に対してのサポートを既に行なっております。そういったグローバル展開を進めていくため、香港に駐在員事務所を開設しております。また今年、インドネシア証券取引所とも業務提携契約を締結し、経済成長が見込まれる海外各国への上場支援体制を広げつつあります。

～社員の男女比と、女性登用について教えてください。

現在社員数は 650 名ほどですが、そのうち女性は 200 人ほどです。残念ながら女性役員はまだ誕生していませんが、一方で管理職人事では女性の昇格が多数あります。

個々の能力や成績によって昇格するという点で、当然ですが男女での違いは全くありません。ただ、以前に比べ、結婚や出産で退職する女性社員が格段に減りましたので、そういった意味では、必然的に女性の活躍の場が広がっていると言えるかも知れません。

～この会社で働いてよかったと感じたのは、どんなことでしょうか？

実際にお客様と接する部門の社員に話を聞くと、法律に基づく専門的な仕事をさせていただいているため、お客さまが当社を頼っていただける点を挙げる社員が多いです。また、ディスクロージャーに関するノウハウを持っているという誇りもあります。上場企業・上場予定企業など、日本の産業を代表する企業を陰ながら支えている点には、とてもやりが

いを感じる部分だと思えます。

■インタビュー所感

宝印刷様に訪問する前は、一般の印刷会社だと思っていましたが、調べてみるとディスクロージャーのコンサルティング業務をされている企業とのことでした。しかし正直なところ、それだけではどんな業務をしているのかわかりませんでした。実際にお話を伺ってみると、事業の意義、ビジネスモデル、そして業務内容から来る厳しい行動方針などを知ることができました。特に、情報セキュリティに対する捉え方・取り組み方が、他の企業とは一味違うと感じました。

また、宝印刷様自身も東証一部上場企業であることから、経営の透明性を自ら示すためにさまざまな努力をされている点が印象的で、身近にこうした凄い企業があることに驚きを感じました。

セキュリティの関係から外部者の訪問を厳格化されているなか、本学の訪問に快く門戸を開いて頂いた宝印刷様、ならびに人事部次長の中込様には深く感謝いたします。ありがとうございました。(経営学科2年・須藤洋介)